

議会だより

みなみふらの



第4回定例会概要
一般質問
決算審査特別委員会
町長の行政報告
議会の動き

2~3P
4~7P
8P
9~10P
10P

12月定期議会



平成27年第4回町議会定例会は、12月16日に招集され、会期を16日から18日までの3日間と決めた後、議会運営委員会及び総務常任委員会報告議員派遣報告があり、2議員による一般質問が行われました。（質問の内容と答弁の要旨は4～7ページに掲載）その後、第3回定例会で決算審査特別委員会に付託された平成26年度各会計歳入歳出決算の認定について、委員長より意見を付して認定する旨の報告があり、報告のとおり認定しました。引き続き、専決処分の承認2件、一般会計及び4特別会計の補正予算、条例の制定1件について審議し、原案通り可決しました。その後、指定管理者の指定9件が総務常任委員会に付託され、第1日目を終了しました。

一般会計補正予算の主なもの

- ・ 備導入に伴う地中熱調査委託料 453万円
 - ・ 道道金山幾寅停車場線拡幅工事に伴う光ケーブル移設等 380万円
 - ・ 保育所臨時職員雇上賃金 352万円
 - ・ 保健師養成奨学資金貸付金 240万円
 - ・ 燃料費 207万円
 - ・ 金山地区福祉交流センター光熱水費 △139万円
 - ・ 商工業等起業支援事業補助金 143万円
 - ・ 住宅リフォーム助成金 100万円
 - ・ 危険廃屋解体撤去費補助金 36万円
 - ・ 同窓会応援事業助成金 31万円

条例の制定・一部改正

○南富良野町保健師養成奨学

現行の保建衛資格試験制度

現在の保健師資格取得制度に即した奨学資金支給制度を見直すもので、優秀な保健師

の養成と安定した保健師の確保を図るために改正するもの

平成27年度各会計補正予算		補 正 額	補 正 後
一 般 会 計		135万円	43億3797万円
国 民 健 康 保 険 事 業 特 別 会 計		△26万円	4億3128万円
後 期 高 齢 者 医 療 事 業 特 別 会 計		—	4090万円
介 護 保 険 特 別 会 計		309万円	2億7096万円
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計		353万円	2億4451万円
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計		6万円	1億1855万円
合 计		777万円	54億4417万円

- 南富良野町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例
- 南富良野町税条例
- 南富良野町国民健康保険税条例



議会傍聴規則の改正

本会議インターネット中継による議会活動の公開や社会状況等を考慮する中で、規定事項を簡略化させるなど、議会傍聴の促進を図るため、規則を見直しました。

- ・ 禁止事項としていた写真・ビデオ等の撮影及び録音を原則自由とする。
- ・ 入場券を廃止し、先着名簿に住所と氏名を記入すれば、定員（21人）まで入場することができる。

公の施設の名称	指定する団体	指定の期間
南富良野町高齢者生活福祉センターくるみ園	社会福祉法人 南富良野町社会福祉協議会 株南富良野町 振興公社	平成28年 4月1日 ～ 平成31年 3月31日
南富良野町一般廃棄物最終処分場		
南富良野町小動物焼却施設		
かなやま湖研修センター		
かなやま湖森林公园		
かなやま湖畔キャンプ場		
かなやま湖オートキャンプ場		
かなやま湖ログハウス村		
南富良野町物産センター		

- ◆平成27年度一般会計補正予算
10月1日から2日にかけて、台風並みに発達した低気圧の影響で発生した強風により、施設屋根が損壊及び飛散し、建物などに大きな被害をもたらしたことから、施設等の応急対応並びに復旧予算を措置するものです。
- 旧東鹿越コミニティーセンター車庫部分屋根及び

専決処分の承認

- 地方税法の改正による納稅猶予制度に関する税条例の一項を定める条例制定と関係条例の一部改正です。

○南富良野町介護保険条例

地方税法の改正による納稅

○公営住宅幾寅東団地屋根トタン修繕等経費

480万円

○自家用自動車への損傷に伴う損害賠償金

31万円

○南富良野町国民健康保険税

○南富良野町税条例

○几寅浅野地区に整備した鹿柵が倒木により破損したことによる修繕経費

43万円

○南富良野町国民健康保険税

○公営住宅幾寅東団地屋根トタン修繕等経費

111万円

○幾寅浅野地区に整備した鹿柵が倒木により破損したことによる修繕経費

43万円

○南富良野町国民健康保険税

○公営住宅幾寅東団地屋根トタン修繕等経費

480万円

○自家用自動車への損傷に伴う損害賠償金

31万円

○南富良野町国民健康保険税

○公営住宅幾寅東団地屋根トタン修繕等経費

111万円

○幾寅浅野地区に整備した鹿柵が倒木により破損したことによる修繕経費

43万円

○南富良野町国民健康保険税

○公営住宅幾寅東団地屋根トタン修繕等経費

111万円

○自家用自動車への損傷に伴う損害賠償金

31万円

○南富良野町国民健康保険税

○公営住宅幾寅東団地屋根トタン修繕等経費

111万円

○自家用自動車への損傷に伴う損害賠償金

31万円

○南富良野町行政手続における修繕、旧金山中学校グラウンドフェンスの倒木処理経費

○幾寅浅野地区に整備した鹿柵が倒木により破損したことによる修繕経費

43万円

○幾寅東団地のトタン屋根がめくれ上がり、風に飛ばされ、自家用車の車体を損傷させたため、和解及び損害賠償を行なうものです。

◆財物事故に関する和解及び損害賠償

指定管理者の指定

事業者からの説明があつたが、今後の経費削減、事業の効率化など、より一層の経営努力を図るべきであり、それが目指すべきである。それがあつたからとして示されることは強く願うものである。

- ・ 総務常任委員会審査意見
- ・ 指定する団体を南富良野町振興公社とする施設については、今後3年間の中で振興公社のあり方検討を進めると理

化などを、より一層の経営努力を図るべきであり、それが目標であるからとして示されることは強く願うものである。

町内建設業者が単独で受注できるよう分割発注すべきでは

答 公営住宅建設は政策予算であるため選挙後に協議したい



一般質問（要旨）

酒井 年夫 議員

①公営住宅の建設

酒井 平成28年度以降において、公営住宅を建設する旨、過日の常任委員会で担当課長より説明を受けたが、その中で1棟3戸の木造を4棟12戸計画し建設費概算1億5千万円、発注にあたって2棟一括発注との考え方であると聞かされた。町内建設業者が単独でも受注できるように本体、電気、機械を棟毎で分割発注すべきと思うが考え方を伺う。

町長 昨年3月に策定した住生活基本計画に基づいて、幾寅東団地の解体した跡地に、平成28年度に1棟3戸を2棟、29年度に1棟3戸を2棟、合計4棟12戸を平屋の木造で建設していく考えを持っている。

近年は、大手企業でないとできない学校などの大型の公共施設建設もあり、なかなか地元の仕事をやつて生き残つていくことが厳しいことも確かにあると思う。そんな中、これからはなるべく身の丈に合った中でやりくりをしながら、木造の公営住宅を建てていこうということで、地元建設業者が関わるものである

ならば、関わるようにしていきたい。

明年は町長選挙があり、当初予算については骨格予算となる。公営住宅建設は政策予算のため、選挙が終わった後、年初めて実施したエクステラジャパン・チャンピオンシップになるかと思う。その中で、2棟一括なのか、それとも1棟ごと分割するのがいいのかについて、予算も伴つてくるので、議会ともその時点で協議をさせていただきたい。

沿線で我が町の観光振興が目立たなさ過ぎる。湖水まつり協議をさせていただきたい。

②観光振興

酒井 住民の方は、観光振興のために何かをやっていると

いう認識はほとんどない。今

議会に提案させていただくこ

とに初めて、いつ始

まつていつ終わったのか知ら

らない人が多い。PRの方法に

問題があつたのではないか。

も町外向けのイベントなのか、住民を対象としたものかも最も近わからない。湖水まつりが終わった後、いつ反省会をやつて、どこで翌年の新たな企画の検討が行われているのかも見えてこないので、こういう声も出てくる。観光振興について、もう少し姿が見えるようにする必要があるのでないか。

町長 南富良野には民間の大

きなホテルはないが、周りにはトマム、サホロ、富良野と

いつたりゾート地があり、そ

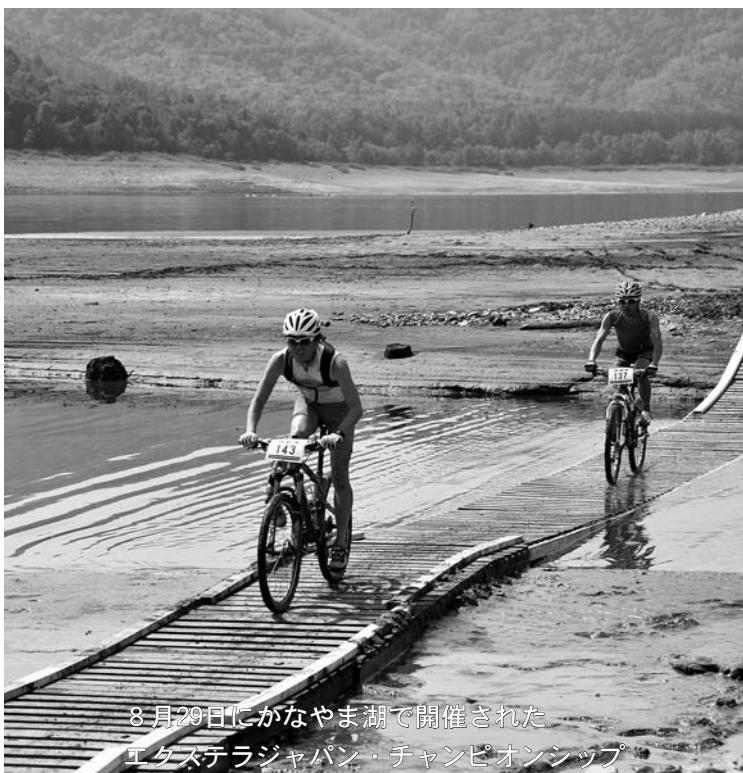
こからたくさんお客様を連れて、かなやま湖や空知川に

体験観光に訪れてもらうこと

も観光であり、道の駅にイン

フォメーションセンターを置いて、アウトドアの拠点として発信していければと考えている。

また、これまで続けてきた湖水まつりのやり方が本当にいいのか。見直しを考えなければならぬ時期に来ていると思うので、来年の開催に向けて観光協会長とも話をしたい。



8月29日にかなやま湖で開催されたエクステラジャパン・チャンピオンシップ

③町内労働力確保と定住の促進

国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用した

南富良野町地方創生総合戦略・緊急的取組

〈地方創生先行型〉

□地域雇用確保事業

町内に居住し、商工業を営む個人及び町内に本社のある法人で新規に正規職員として雇用した事業者に対し、1人あたり月額5万円を24カ月間支給する。

□危險廢屋解體撤去事業

個人が所有する建物の解体撤去を町内の解体撤去業者を利用して行う場合、費用の一部を助成（住宅5千円／m²、住宅以外3千円／m²、算定される助成金額より解体撤去費用が低い場合は低い金額）する。

□住宅リフォーム促進事業

現在居住している個人住宅のリフォームを町内に本社のある建設業者等を利用して行う場合、費用の30%を助成（限度額50万円）する。

〈地域消費喚起・生活支援型〉

□プレミアム付商品券発行事業

20%のプレミアム付商品券を前期(6月～8月)と後期(11月～1月)に発行。

酒井 町政執行方針に「国の地方創生対策を活用して、正職員として新規に雇用増を図る事業者に対し支援する制度を創設し、町内の労働力確保と定住の促進を図る」とあるが、具体的な内容と実績を伺う

町長 国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用して、平成27年4月より町内の雇用機会の拡大、定住促進を図り、地域産業の振興

及び地域の活性化を目的として、地域雇用確保事業を創設した。事業内容としては、新規に正職員として雇用した事業者に対し、月額5万円を24カ月間支給するもので、事業の実績としては、11月末現在で6事業所、17名の新規雇用があつた。町外からの新規雇用者数は15名、町内からの新規雇用者数は2名となつている。町としては、地域産業の振興及び地域の活性化に向け引き続き取り組んでいきたい

4 全国小中学生学力テスト

酒井 先の定例議会で質問した折には検討中とのことであつたが、分析の結果が出たのであれば、どのような結論となつたのか。また、本町児童、生徒の学力向上のため今後どのような取り組みを行うのか伺う。

1日にその通知があつた。これらを受け、各学校で分析などを現在行つてゐるところで取りまとめられ次第、昨年同様に広報などを通じて周知していきたい。

題なのか、家庭学習の問題なのか、研修のために常に上位に入っている秋田県や福井県の学校へ教員を派遣するなど教育委員会として努力をできないのか。

に、基本的な生活習慣を定着させることが非常に大切だと思っている。子どもたちの学力と家庭の教育力がともに伸びることが重要であり、家庭では家庭学習などをしっかりと取り組ませ、毎日の朝食、早寝早起きなどの規則正しい生活リズムを身につけさせることとは、学力の向上にとって大切なことであると考えている。学校と家庭がより一層連携して、学力向上に取り組んでいきたく思っている。

研修に行かせる予定となつて
おり、その中に秋田県などの
現在上位にいる他県の研修も
入つてくると思うので、それ
らにも参加させていく予定で
いる。また、学校での授業の
関係もあり、どんどん行かせ
るわけにはいかないが、長期
休業中のそれら研修について
は、教育委員会としても学校
としても積極的に取り組むよ
うに考えている。

地方版総合戦略の最重要課題は

**答 地域産業の創出と雇用促進
子育て支援と福祉の充実**



一般質問（要旨）

阿部 修一 議員

①地方版総合戦略策定

阿部 本町の総合戦略につい

て、第5次総合計画とタイアップさせた中で、町長として、何を最重要課題として計画を策定していくのか伺う。

町長 平成25年度から平成34年度までの10カ年間について第5次総合計画を策定した。

その中では、安全・安心なまちづくり、健やかな子ども育成、地域産業の活性化、自然環境保全と循環する森づくり、

共に創造するまちづくりと人材育成の5項目を重点施策として掲げている。

地方版総合戦略の策定にあたつても、まち・ひと・しごと創生法の目的、基本理念に基づき、第5次総合計画の重点施策を基本とし、策定を進めている。少子高齢化に伴い、これから急速に進展する人口減少の課題に多くの自治体が独自性を持つた政策を進めているところで、この人口減少への対応としては、企業誘致、雇用政策、移住及び定住政策など、多くの選択肢もあるものと考えているが、日本全体、南富良野町としても出生率の

低下が大きな要因となつてゐる状況でもある。

また、本町で暮らしたい、生活したいと思っている方がいても、生活する上での基盤となる働く場、雇用がなければ、本町において生活するこ

とは困難である。まずは、雇用対策の充実が重要になつてくると考えている。

阿部 本町の総合戦略策定にあたつては、

①重点道の駅候補となつている「道の駅南ふらの」の再編整備

②地域再生可能エネルギーとして、木質バイオマスエネルギーの活用推進

③南富良野高等学校のあり方

④本町に住んでいた大いに

たつても、まち・ひと・しごと創生法の目的、基本理念に基づき、第5次総合計画の重点施策を基本とし、策定を進めている。少子高齢化に伴い、これから急速に進展する人口減少の課題に多くの自治体が独自性を持つた政策を進めているところで、この人口減少への対応としては、企業誘致、雇用政策、移住及び定住政策など、多くの選択肢もあるものと考えているが、日本全体、南富良野町としても出生率の

②郵便局との窓口連携業務

阿部 10月1日より幾箇所を除

いて実施が可能で、住民のく町内各郵便局との間で、特定事業を扱う契約を結び、住民票写しの交付などの業務を実施しているが、次の2点について伺う。

阿部 廃止した巡回窓口車や

①今日までの事業の実施状況は。

②現段階において、改善すべき事項や次年度以降に対する要望等は。

町長 ①10月1日より住民票の写し、印鑑登録証明書など

の交付業務について、幾箇所を除く町内郵便局との連携において実施しており、開始から

これまでの実績としては、3

地区の郵便局での取り扱い総件数が17件であり、地区別では落合郵便局2件、金山郵便局5件、下金山簡易郵便局10件の取扱いとなつてている。

②業務開始からまだ2カ月余りといふこともあり、現時点

での改善事項はないが、今後

事務を進めていく上では、い

ろいろと改善点が出てくるも

のと思われる。その際には住民の方々の意見を十分踏まえ

て、取り進めていきたい。

なお、今後とも郵便局において実施が可能で、住民の

日々の利便性の向上や行政の

定事業を扱う契約を結び、住

民票写しの交付などの業務を

実施しているが、次の2点に

いきたい。

阿部 総務課長 利便性を確保するため、各自治会が管理する施設等に、役場に届けるための封筒を設置している。郵送での封筒が各担当課に到着するもので、行政側の料金負担により行つてている。

総務課長 利便性を確保するため、各自治会が管理する施設等に、役場に届けるための封筒を設置している。郵送での封筒が各担当課に到着するもので、行政側の料金負担により行つてている。

具体的なケースはまだまとめていないが、日々、1、2

通の封筒が役場に届いている。

③観光事業

阿部 本年度の執行方針に「サイクリングによる自然体験観光メニューの開発の検討」と、これらの取り組みに対し財政援助を行う」とあり、3月の議会でも、これらの内容と考え方、さらには町内の多くの方々との連携や協議の必要性について質問し、前向きな答弁であったと思うが、これらについて、事業の実施状況と今後の展望を伺う。

町長 サイクルツーリズム推進の本年度の取り組みとして

は、観光協会と町内アウトドア事業者5社でサイクルツーリズム推進協議会を組織し、

ガイド人材の育成、サイクリングコースの開発、地域のPRを実施している。

具体的な実施内容として、

ガイド人材の育成については、

自転車に関する必要な知識を

習得するため、自転車整備の

講習会及びガイド方法の講習

会をそれぞれ全4回開催し、

延べ21名のアウトドア事業者

の方々が参加している。サイクリングコースの開発につい

ては、モニター事業を実施し、

方々に参加をいただき、今後

日々に参加されることで、今後

日々に参加すること

が可能で、そのセンサー情報

を行っているところである。

また、地域のPR事業として、

アウトドア用品販売大手会社

が発行する会員情報誌に本町

のアウトドア情報の掲載及び

展示会に出演し、本町のPR

を行ってきた。

来年度は、株式会社モンベ

ルネイチヤートラベルと提携

し、サイクルツーリズム推進

品化及び星野リゾートトマム

にPR等を行っていくことが

計画されている。この事業に

いては、アウトドア事業者を

育成し、少しでも地域に根づ

いていただけの取り組み

でいる。

なお、今年は、サイクリン

グコース選定のためのモニ

ターアイテムなどを行ってきたが、

これが順調にいく中で、今後

は農業や商店の方も巻き込んで、

町民みんなで盛り上げる

ものにしていきたい。

ANAのセールス、タイの旅行雑誌社、国内客の計12名の方々に参加をいただき、今後

④高齢者の見守り対策

阿部 「人感センサーや24時間コールセンターを通じた緊急対応について、効果や課題の検証をし、計画的な導入の検討を行う」と執行方針にあるが、これらの進捗状況を伺う。

町長 人的な見守り体制を補完する機能として導入を検討している高齢者見守りシステムは、デモ機器を町内単身高齢者宅に試験的に設置し、そこ

でテスト運用を継続している。この機器は、携帯電話回線を利用してデータ送信により見守りを行うもので、特別な設置工事は不要。機器を置けるスペースと電源コンセントさえあれば、簡単に設置することができる。人感センサーが人の動きを感じて、自動的に活動量のデータを送信する仕組みとなつており、このデータに一定時間動きがない場合、緊急連絡先に電話で安否確認を行ったところ、

タは、インターネットを通じ、パソコンやスマートフォンを

使つていつでも閲覧すること

が可能で、そのセンサー情報

の皆様が引き続き住みなれた

から、毎日の生活リズムや行

動の変化を見守ることができ、

いたぐための見守り支援対

策の1つとして、次年度以降

順次導入を進めていきたい。

また、救急搬送が必要な場合

は、コールセンターが代行し

て消防署へ要請をするなどの

対応が行われる。これまでの

テスト運用において、機器の

簡易性や汎用性、見守り支援

としての機能性、

さらには緊急時

の対応状況など

から、十分に評

価できるものと

認められたところである。

また、システム導入に向けた

高齢者のニーズ

について、民生委員の方々のご

協力をいただき、

おおむね75歳以上

の単身高齢者

が高齢者のニーズ

について、民生委員の方々のご

協力をいただき、

おおむね75歳以上

の単身高齢者

お金の使い道を 確認しました

決算審査 特別委員会



報告を行う小出委員長

決算審査特別委員会委員長報告
平成27年第3回定例会において、本特別委員会に付託された、認定第1号平成26年度南富良野町各会計歳入歳出決算の認定について、平成27年11月18日、19日、20日の3日間審査した結果について報告いたします。

決算審査特別委員会委員長報告

◆歳出について

①府用車管理については、その維持運営に相当の経費が掛かっており、総台数も年々増加している状況であります。

決算審査特別委員会の様子

決算審査特別委員会

平・公正な行政を基本に
自主財源の効果的活用
と、地方創生に向けた
総合戦略の策定と事業
の執行にあたっては懸
命な投資効果を望むも
のであり、平成28年度
の予算編成及び執行へ
の反映を強く願うもの
であります。

平成27年第3回定例会で決算審査特別委員会に付託され閉会中の継続審査になつていた平成26年度各会計歳入歳出決算の認定は、委員会審査の結果、委員会の審査意見を付して認定すべきものと第4回定期会において委員長から報告があり、報告のとおり認定

審査にあたつて
過去に決算審査特別委員会
が付した意見が平成26年度予
算編成及び執行にあたりどの
ようにも反映されたのか。また
経常経費、投資経費の執行状
況と効果などを主眼に審査し
た結果、次のとおり審査意見
を付して認定すべきと決しま
した。

全体計画を立てる中で、効果的管理運営で経費節減に努めるよう望みます。

ないよう、行政として責任をもつてその効果と実態を検証すべきです。

町長の行政報告



シャッターの破損1棟で約30万円となり、農業者の方々の被害額は約340万円、その他鳥獣害防止柵（鹿柵）では、倒木によるネット等の破損が3カ所確認され、被害額は約100万円がありました。

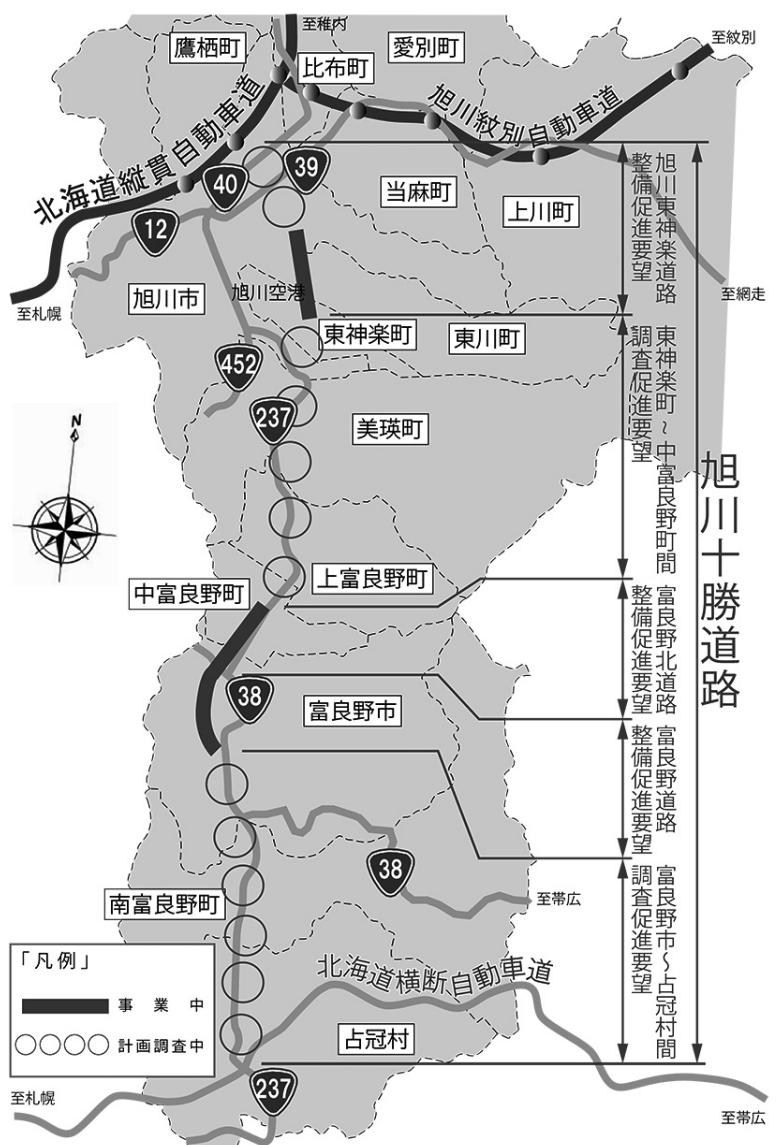
住宅関連では、幾寅・東団地公営住宅2棟の屋根トタンの損壊及び西団地防火パネルの損傷1カ所など、合わせて496万1千円、さらにその損壊した公営住宅のトタン飛散による個人所有乗用車損傷の修理経費が31万2千円となりました。これら町有施設の応急対応に伴う経費及び施設等の復旧費用は、一般会計で664万5千円となり、10月8日に補正予算として専決処分を行つた上で、速やかに復旧いたしました。

幸いにも、このたびの災害による人的被害や大きな事故等はありませんでしたが、住民の方の車両に損傷を与え、ご迷惑をおかけしましたことに心からおわびを申し上げます。また、このたびの強風被害を通じまして、防災・減災に対する取り組みの重要性を再認識し、引き続き災害に備

■ 強風による建物等の被害状況

本年10月1日から2日にかけて、台風並みに発達した低気圧の影響により、道内では非常に強い風が吹き、幾寅地区では最大風速が16mを記録し、町内では倒木、倉庫の倒壊、農業用ビニールハウス及び住宅屋根トタンの損壊並びに飛散など、建物等に大きな被害が発生いたしました。町内施設等における被害状況及び推計被害額は、町有施設の屋根及びフェンスの破損など、建物被害で111万1千円。農業用施設では、農業用格納庫の全壊、半壊が各1棟で約300万円、ビニールハウスの破損2棟で約10万円、倉庫

シャッターの破損1棟で約30万円となり、農業者の方々の被害額は約340万円、その他鳥獣害防止柵（鹿柵）では、倒木によるネット等の破損が3カ所確認され、被害額は約100万円ありました。



■ 地域高規格道路旭川十勝道 路の整備促進及び道の駅南 ふらのの再開発

えた施設及び体制の整備に万全を尽くしてまいります。

旭川十勝道は、旭川市と占冠村を高規格道路で結ぶもので、富良野市以南につきましては、調査候補区間として富良野市の布部大橋付近から占冠村中央に向かうルートとして、期成会の要請書に記載

された施設及び体制の整備に万全を尽くしてまいります。旭川十勝道は、旭川市と占冠村を高規格道路で結ぶもので、富良野市以南につきましては、調査候補区間として富良野市の布部大橋付近から占冠村中央に向かうルートとして、期成会の要請書に記載

された施設及び体制の整備に万全を尽くしてまいります。旭川十勝道は、旭川市と占冠村を高規格道路で結ぶもので、富良野市以南につきましては、調査候補区間として富良野市の布部大橋付近から占冠村中央に向かうルートとして、期成会の要請書に記載

された施設及び体制の整備に万全を尽くしてまいります。旭川十勝道は、旭川市と占冠村を高規格道路で結ぶもので、富良野市以南につきましては、調査候補区間として富良野市の布部大橋付近から占冠村中央に向かうルートとして、期成会の要請書に記載

された施設及び体制の整備に万全を尽くしてまいります。旭川十勝道は、旭川市と占冠村を高規格道路で結ぶもので、富良野市以南につきましては、調査候補区間として富良野市の布部大橋付近から占冠村中央に向かうルートとして、期成会の要請書に記載

バイウェイ、ガーデン街道についても同様に富良野からトマム、十勝方面に通ずるルートとなつているところであります。また、本町周辺には、富良野、サホロ、トマムといつたりゾート地があり、本町はその中でかなやま湖、空知川などアウトドア体験に適したフィールドを有しておりますことから、観光地を最短で結ぶルートの設定が広域観光にとって有益であり、本町にとつても移動時間の短縮が図られることにより、体験観光に訪れていたぐる方々が増えるものと期待するところであります。

三つには、物流の利便性

向上であります。旭川十勝道路沿線市町村で、農産物の中でも特に野菜の生産量が多く、また本町においては東鹿越の鉱山で採掘されている石灰石が全道に向けて出荷されており、高規格道路が整備されることにより、迅速に安定性の高い輸送ルートとして物流効果が見込まれるほか、救急搬送の時間短縮効果と、近年

町では現在、地方創生の拠点とすべく、昨年度重点道の駅候補として指定された物産センター周辺の再開発を検討しているところであります。また、道の駅に今まで以上に町民の方にも利用していただけるような機能を加え、観光客の方には地域の情報発信の拠点施設として、また憩いの場として再編整備してまいりたいと考えているところであります。

議会の動き

平成27年11月～平成28年1月

- 11月 2日 ○全員協議会
- 3日 ○南富良野町表彰式
- 10日 ○上川町村議長会臨時総会
(東京都)
- 11日 ○町村議會議長会全国大会
(東京都)
- 12日 ○上川町村議長会現地研修会
～14日 (富山県・石川県)
- 13日 ○南富良野町敬老会
- 13日 ○「住田和明」第2師団長来町に伴う歓迎会 (上富良野町)
- 14日 ○防犯と交通安全の住民集会
- 17日 ○東京ふらの会
～18日 (東京都)
- 18日 ○決算審査特別委員会
～20日
- 20日 ○衆議院議員ささき隆博ふるさとの集い (富良野市)
- 21日 ○南富良野ジュニアカーリング大会
- 27日 ○総務常任委員会○全員協議会
- 28日 ○北海道日本ハムファイターズ野球教室

- 12月 10日 ○議会運営委員会
- 14日 ○今津ひろし代議士を囲んで忘年会
(旭川市)
- 16日 ○第4回町議会定例会
- ～18日 ○議会運営委員会○総務常任委員会
○全員協議会○議会広報特別委員会
- 22日 ○鉄道体系の在り方に関する北海道運輸局及び北海道への要請
(札幌市)
- 26日 ○新党大地「望年会」(札幌市)
- 1月 4日 ○消防出初式
- 6日 ○南富良野町新年交礼会
- 10日 ○南富良野町成人式
- 19日 ○農業生産法人設立に向けた調査・研究に係る講演会
- 19日 ○商工会平成27年度永年勤続優良従業員表彰式並びに会員新年会
- 25日 ○沖縄県本部町交流団来町に伴う歓迎会
- 27日 ○沖縄県本部町交流団来町に伴う懇談会

次の定例会は3月9日から18日の予定です。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

●問い合わせ先 ☎52-2114 ●ホームページ <http://town.minamifurano.hokkaido.jp/gikai>